



地域の交通安全活動に貢献

今年の春に阿蘇地区地域交通安全推進委員を退任された、岩永浩氏（宮地）9期18年、岩瀬善喜氏（横堀）8期16年、金森孝治氏（赤水）4期8年が7月22日、熊本県地域交通安全活動推進委員協議会長等から感謝状が届けられ、井手上阿蘇警察署長からそれぞれに手渡されました。

授与者3名は、地域の道路交通に関するモラルを向上させ、交通安全の確保について住民の理解を深めるため諸活動のリーダーとしてボランティア活動に貢献されました。

食の阿蘇ブランド化に向け商工会稼働

商工会は、現在阿蘇市の特産として売り出し中の“あそん だご汁街道”（加盟店38店舗）が、国の地域資源∞全国展開プロジェクト事業に指定されたことをうけ、7月17日、食の阿蘇ブランド構築プロジェクト推進実行委員会（委員長山部謙一郎氏）を立ち上げました。年間2千万人もの人が訪れているのに阿蘇の特産をもっと食べてもらわないともったいないと九州新幹線の全線開通（平成23年）も見据え事業を展開するもので、実行委員は、「農・観・商」連携を重視したメンバーで構成。今後、38の加盟店とともに更なる戦略を図ります。



※加盟店には緑ののぼり旗が立っています。マップもコンビニなどに置いてあります！



さっぱり風味の夏の新そばを試食！

道の駅・波野「神楽苑」で7月24日、生産者や関係者約30名が招かれ夏ソバの試食会があり、「ざるそば」「サラダそば」「かも南そば」の3種類を試食し旬を楽しみました。

夏ソバは、平成19年度から波野高原で試作研究してきた県の推奨品種「なつみ」で、これまで鳥害等で収穫できませんでしたが、今年4月下旬、神楽苑が地元農家に1.1ha委託栽培し7月上旬に1,100キロ収穫したものです。

神楽苑では、「さっぱりとして女性にサラダ感覚で楽しんでもらえる」と好評だった「サラダそば」をはじめ、かも肉と焼き葱をトッピングした「かも南そば」を夏季限定の新メニューに取り入れています。夏の新そばはレストランで8月20日頃まで楽しめます。

散髪ボランティア 「いつも感謝しています。」



熊本県理容環境衛生同業組合阿蘇支部（西誠治支部長ほか19人）の皆さんが、7月13日、福祉施設（みやま荘、たちばな園、あそん里）の入所者163人の散髪を無償で行いました。同組合は正月前と盆前の年2回、福祉施設で散髪の奉仕活動をされており、40年もの長年にわたり継続されています。この日も地元の散髪屋さんが訪れるとうれしそうで、自力で床屋まで行けない方々も「助かります」と喜ばれました。